



は せ がわ ゆき こ
長谷川 幸子

に ほん きょう さん どう つ し ぎ だん
日本共産党津市議団

いじめ・自殺から子どもを守るために

問 いじめやいじめによる自殺事件が起きるたびに事実を隠ぺいした学校や教育委員会の姿勢が問われているが、背景に「評価制度」（教員評価制度・学校評価制度）の問題があるのではないかと考えるが、いかがか。保護者と教員に加え、地域との連携が大事だが地域住民の支援ネットワークにおける課題等は何か。

答 教育委員会が行っている評価制度は、教員の人材育成を目標にしたものであり、報道で言われるような隠ぺいの原因が評価制度にあるとは考えていない。

津市においても教員は多忙を極めていると認識しているが、即座に問題を解消できる方法はなく、できることから地道に取り組みながら、少しでも教員が心に余裕を持って、子どもと向き合える時間が持てるよう努力していきたい。

学校と地域の連携については、保護者や地域の方に学校へ来ていただいたり、学校が地域に向いたりするなど、いろいろな教育体制の充実を市内の全校で進めているが、学校と地域の間に入って調整いただく方を探し、継続的な連携が保たれるように努力していく必要を感じている。

●その他の質疑・質問●

○認知症対策について、地域包括支援センターの充実・強化、地域での支援ネットワークづくりと低年金世帯の認知症の方の居場所づくりを

○孤独死・孤立死させないために、相談窓口を設置し、気になる世帯の実態把握と日常的な見守り通報システムを

○市営住宅は削減ではなく充実強化を など



▲市営住宅は削減ではなく充実強化を



つじ みつこ
辻 美津子

し ー みん く ら ぶ
市民クラブ

ポルタひさいの市への買取り要請について

問 久居都市開発(株)から土地建物の買取り要請が市に出されている。現状を鑑み、地域の皆さんからは市に買い取ってもらい、駅周辺の活性化のために役立ててもらいたいとの声を多く聞いている。私もそういう考えだが、現在の状況からして一日も早い解決が必要だと思うが、今後どのように市民の意見を集約し結論を出していくのか。早急に結論を出していただきたい。

答 久居土地開発株式会社の会計年度が来年3月であることから、市としての選択を検討できる時間は限られている。このため、8月の全員協議会や9月の本会議での意見も踏まえ、さらに地元自治会や地域審議会等、また広報等を通じて広く市民の意見を聞いていきたい。

ポルタひさいの機能的な価値等を最大限に生かすこと、入居しているテナントや住民の方に安心していただくこと、損害担保契約の履行を回避できることを考えれば、市が購入することが一番よい方法であると思っている。市が購入するのであれば、購入後の施設の有効活用についても具体的に検討することが必要であり、市民の皆様のご意見を伺い、理解が得られれば迅速に判断したいと考えている。

●その他の質疑・質問●

○久居保健センターについて
・生涯にわたる健康増進のための拠点施設として、久居総合支所の南庁舎を活用した整備を

○榊原地区の活性化について

○おもてなし館の活用について
・地元の創意工夫により榊原温泉郷の活性化を

・地域アドバイザーの設置を



▲榊原温泉郷おもてなし館の活性化を